

科目名：保育実習指導Ⅲ(保育所)		講義・ 演習	担当教員名： 平山 紀子
			実務経験 : 有
2年次 後期	1単位		選択必修/ 必修(実習・指導Ⅲ又はⅣを履修)
授業の到達目標及びテーマ： <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実習Ⅰの経験を踏まえ、意義を理解し自発性を発揮し、真摯に学ぶ姿勢を持つこと。 ・ 実習を充実した学びの場になるよう、実習に必要な心構えがしっかりできていること。 ・ 記録の取り方や指導案の必要性や記入技術を身に付けること。保育技術等について理解していること。 ・ 実践に必要な保育実技・技術等が身につけていること。 ・ 明確な目標や課題を持って「保育専門職」責任感をもって行動できること。 			
授業の概要： <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実習Ⅰの経験を踏まえ、保育実習Ⅲの実習指導を行う。実習Ⅲの意義や目的を理解し、保育の場を讀み取る力をフォトランゲージを通して思考する力をつけ、日誌や指導案に活かす。 ・ 実習後は、個別事後レポートを通して自らの保育観について考察する。また、授業内実習報告会の発表を通して他者の実習を知ることにより、自らの学びとする。 ・ 保育実技・技術で足りなかったものを振り返り、課題を見つけオペレッタ作成を行い、保育を行う上で必要な資質・能力・技術の益々の向上を目指す。 			
授業計画			
1	授業オリエンテーション 実習Ⅲ実習先の情報、実習日程の確認		
2	実習に向けての再確認(実習の概要・課題・実習の内容・心構え・オリエンテーションについて)		
3	フォトランゲージ①(養護と教育について)		
4	フォトランゲージ②(年齢別)		
5	実習に関する実践的指導①(部分案作成)		
6	実習に関する実践的指導②(全日案作成)		
7	実習事前指導(実習録の確認・実習中の諸注意・実習中における諸所の対応)		
8	実習事後指導①(お礼状記入)		
9	実習事後指導②(事後レポート作成)		
10	実習事後指導③(授業内実習報告会)		
11	実践保育に活かす保育実技・技術①(紙芝居・絵本の読み聞かせ・手遊び・絵描き歌室内集団ゲーム遊び・製作遊び等)		
12	実践保育に活かす保育実技・技術②(オペレッタ作成 題材決め・グループ決め)		
13	実践保育に活かす保育実技・技術②(オペレッタ作成 大道具・小道具作成・練習)		
14	実践保育に活かす保育実技・技術②(オペレッタ作成 大道具・小道具作成・練習)		
15	定期試験		
テキスト：学び続ける保育者を目指す「実習の本」 萌文書林 久富陽子編著			
参考書等：保育所保育指針<29年度告示>フレーベル館 厚生労働省・全国保育士会「養護と保育が一体となった保育の言語化」・萌文書林「フォトランゲージで学ぶ 子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美			
評価の方法 出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題及び期末試験等により総合的に評価			